

矯正歯科

当クリニック矯正歯科では、常勤の矯正歯科専門のドクター（日本矯正歯科学会認定医）が診療にあたっております。矯正歯科というとお子様だけというイメージがありますが、成人の方ももちろん治療対象となります。歯並びや咬み合わせに関する相談は電話にて御予約の上、御希望の日時に承っております。お気軽にお電話下さい。

あびこクリニック歯科・矯正歯科連絡先

月曜日～土曜日（祝日・年末年始を除く）

9：00～19：00

TEL 04-7184-0675（歯科直通）

＜当クリニック矯正歯科の特徴＞

- 1、 同じフロア内で一般歯科・小児歯科・口腔外科の各専門のドクターと連携をとりながら治療を進めることにより、治療上必要な処置についても確実かつ安心な体制をとっております。
- 2、 ワイヤー矯正におきましては
 - ① 矯正治療に最適な力が発揮され、効率よく歯の移動が可能な Ti-Ni 超弾性ワイヤーを主に使用し、痛みの少ない歯と体に優しい治療を心がけております。
 - ② 頬や歯肉の粘膜などに食い込みやすく清掃困難なループを排除した、ストレー

トワイヤーを用いたテクニックを採用しております。

- ③ 前歯部には目立ちにくい透明のブラケット（ワイヤーを歯に固定する金具）が標準仕様となっており、追加料金なしでご利用いただけます。



- 3、 成長期のお子様におきましては取り外し可能な矯正装置や目立ちにくいシンプルな固定装置を先行利用することで（部分的にワイヤー装置を使用する場合があります）、小臼歯抜歯を可及的に回避し、将来の全体ワイヤー矯正の治療時間の短縮を図っております。

<治療例>

すべて当クリニックで治療された患者様の症例です。

1、成長期を過ぎた出歯の方の例



【治療前】 歯と顎の大きさの不調和から、上下の顎から歯が前方に傾いています。



【治療中】 上顎は左右で 4 番目の小臼歯、下顎は左右で 5 番目の小臼歯を抜歯し、ワイヤー矯正を行いました。歯を抜いた隙間に前歯を移動させてきます。



【治療後】 小臼歯を抜歯することで、前歯の傾きは修正され、内側に移動させることで出歯が改善されました。

2、成長期の出歯の方の例



【治療前】出歯とともに、上下顎で凸凹が認められます。



【治療後】永久歯非抜歯で治療しています。成長期であれば、顎の骨の拡大や臼歯を後ろに送ることで、小臼歯を抜歯しなくても出歯や凸凹を治せる可能性が高くなります。

3、成人の八重歯の方の例



【治療前】顎の大きさに対して歯が大きく、犬歯が外側にはみ出しており著明な八重歯が認められます。



【治療後】上下顎で 4 番目の小臼歯を抜歯してワイヤー矯正にて治療しました。犬歯は歯の中でも歯根が長く比較的最後まで残る歯であり、歯冠も他の歯に比べて特殊な形態をしていることから、このような状態であっても小臼歯抜歯を選択することが多くなります。

4、 成人の反対咬合の方の例



【治療前】上下の真ん中がずれ、前歯左側の反対咬合が認められます。下顎に軽度の凸凹があります。右側方で下の歯が全体的に前方にあります。



【治療中】従来はループが沢山入っている方法でしたが、超弾性型 Ti-Ni ワイヤー

によってループの要らないシンプルな治療が可能となりました。下顎の側方歯を後方へ移動させるために下顎の親知らずは治療前に抜歯しています。



【治療後】上下の真ん中が一致し、かみ合わせの関係も良好となりました。

5、乳歯列期の反対咬合の例



【治療前】上下顎ともまだすべて乳歯ですが、すでに反対咬合を呈しています。咬み合わせは縦方向に深く咬んでおり、上の前歯が下の前歯に隠れて見えません。



【治療中】上顎に取り外し可能なプレート装置を装着して、フェイシャルマスクという装置から輪ゴムの力で上顎を骨ごと前方へ成長誘導します。



【治療後】反対咬合は改善し、上の前歯が見えるようになりました。症例によって異なりますが、反対に咬んでいる場合、下顎の骨がより前方に成長するのを抑制する目的で、この例のように永久歯が生える前の時期から積極的に治療する場合があります。

* 上記の症例はすべてあくまでも一例であり、矯正治療前の検査により症例ごとに使用する装置や抜歯・非抜歯を決定していきますので同じような歯並びであっても同じ治療方法となるとは限りません。

<お知らせ>



成人の方を対象として、目立たず取り外し可能な透明なマウスピース（クリアアライナー）を用いた矯正治療も行っております（但し適応症例は限られております）。興味のある方は御相談下さい。

医療法人緑生会 あびこクリニック 歯科・矯正歯科担当医

日本矯正歯科学会認定医

歯学博士 柴崎 健